

スルメイカ漁獲増 道南に活気



はこだて自由市場の店頭に並ぶスルメイカ

函館沖、恵山沖

函館沖や恵山沖でスルメイカの漁獲が増え、港も活気づいている。函館市水産物地方卸売市場では、**1日の取扱量が30トを超える日もあり**、**単価も1キロ600円前後と昨年同月の3分の1以下に落ち着いている**。**①** 水産関係者は「イカのマチが戻ってきた」と笑顔をこぼす。

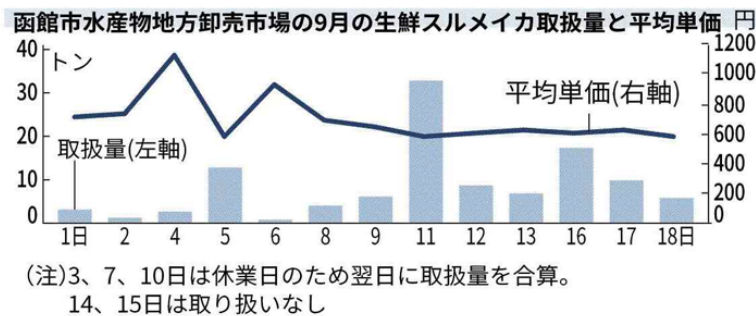
市場扱い 1日30ト超も 価格手ごろに

同市場を運営する函館魚市場によると、9月の取扱量は8日以降、1日4ト以上が続き、11日には**今期最高の32トを記録した**。18日時点で111トと、既に昨年9月の1カ月間の21トの5倍超に達する。
平均単価も昨年9月が1キロ2115円だったのに対し、今月は600円前後と手ごろになってきた。同市場の担当者らは「昨年と比べて漁獲量が増える時期が早く、量も多い」と話す。

はこだて自由市場（新川町）にも新鮮なイカが並ぶ。イカ専門店を営む

Aさん(75)は「イカが安いよ」と訪れた客に声を掛け、「身も厚く、甘みが増している今が食べごろ」と薦める。
② とはいえ、1カ月で千ト以上の水揚げもあった往時にはまだほど遠い。道南の水産加工会社などでつくる函館特産食品工業協同組合は「加工品の値下げはまだ難しい。この漁獲の回復状況が続いてほしい」とする。

スルメイカの生態に詳しい函館頭足類科学研究所の桜井泰憲所長は「黒潮の流れが変化し、太平洋側を回遊する秋生まれのイカが増えている。来年も漁獲が期待できる」とみている。
スルメイカは根室や青森県八戸沖などでも豊漁で、水産庁は19日、20



25年漁期（25年4月～26年3月）の漁獲可能量（TAC）1万9200トを増枠する方針。道内に配分された1900トは、11日までに1200トを消化している。**③** (神田幸)



道新で ワークシート

年 組 名前

(1) 今年のスルメイカの単価は、いくら位でしょう。

(2) 記事のグラフに関係のある文章の記号（ア～オ）をすべて書きましょう。

(3) スルメイカの漁獲が増えた原因は、どんなことだと考えられますか。
文中から書き抜きましょう。